

書くこと①

第4学年

調べたことの中から書くことを決め、写真と文章を関係付けて紹介文を書くこと

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

自分の考えを明確にして、伝えたいことを写真や絵と関係付けた紹介文を書けていない。

ポールクラブを選んでください。

このように、喜びが味わえるクラブなので、ぜひバスケットボールクラブを選んでください。



ぼくが3年生におすすめするクラブ活動は、バスケットボールクラブです。なぜかというところ、上手くなる喜びが味わえるからです。ぼくは、3ポイントシュートが決められなかったけど、できるようになりました。

バスケットボールクラブを紹介する理由として、上手くなる喜びを挙げているにもかかわらず、シュートをしている様子などの効果的な写真が選べていない。

実践の概要

単元名

3年生にクラブのよさを伝えよう

『クラブ活動リーフレット』を作ろう 光村図書

目標 伝えたいクラブの良さを明確にし、文章と写真を対応させて紹介文を書くことができる。

- 内容
- 3年生に伝えるクラブ活動の良さを考える。
 - 紹介文の説得力を上げる写真について考える。
 - 伝えたいことと写真が合っているか助言し合う。
 - 写真を使って紹介文を書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	説得力のある意見文を書いて、お別れ遠足の思い出を作ろう	自分の意見が深められなかったり、自分の考えを支える効果的な根拠が挙げられなかったりしている。
第5学年	提案書を書いて、班のつどいを『超変革』!	自分の考えを、他の視点から見直したり、他の条件などと関係付けたりすることができない。
第4学年	3年生にクラブのよさを伝えよう	自分の考えを明確にして、伝えたいことを写真や絵と関係付けた紹介文を書けていない。
第3学年	ぼうけん物語の作者になって出版記念会を開こう	内容的なつながりを考えて書きたいことを決めることができない。
第2学年	かんさつ名人になろう	観察したことから書くことを選んだり、簡単な構成で文章を書いたりすることができない。
第1学年	しらせたいなカードで、鈴原小学校の『いきもの』をしらせよう	メモしたことをもとにして、観点ごとにまとまりのある文章に書き表せない。

単元末の目指す姿

- 写真と自分の考えを関係付けることで、自分の考えをさらに明確にすることができるようになる。
- 写真と考えとの関係を交流することで、客観的にその関係について考えることができるようになる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

自分の考えと、写真が合っているかを考えさせる。

活動のねらい ▶ 考えと非連続型テキストを関係付けることができる。

ここがポイント

自分が伝えたいことを上部に書かせることで、伝えたいことと写真との関係を意識させる。また、写真から客観的にわかることと、自分が考えたことを区別して書かせる。

授業の様子



自分の言いたいことの中心とは、写真が合っていないかもしれないなあ。

(期待される児童の姿)

教科書から学んだ、写真と考えを関係付ける方法を使って、自分の写真を考えと関係付けて吟味する。写真を吟味することで、自分の考えをより明確にすることができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

友達の考えと写真が合っているかを考え助言し合う活動を行う。

活動のねらい ▶ 助言することで、写真とテキストの関係を客観的に見直すことができ、自身のワークシートの修正点にも気付くことができる。

ここがポイント

写真を見てわかることと、そこから考えたことを区別して書かせたワークシートをもとに交流させる。
→相手の意図を踏まえた助言につながる。

授業の様子



もっと写真をアップにするといいな、
これが伝わりやすいかもしれない。

言いたいことはわかったけど、
この写真のこの部分は、
どうしてこんなにアップなの？

(期待される児童の姿)

考えと写真とのつながりを発表したり、助言し合ったりすることで、非連続型テキストと連続型テキストとの関係付けができ、自身の内容についても客観的に見直したり修正点を考えたりすることができる。